



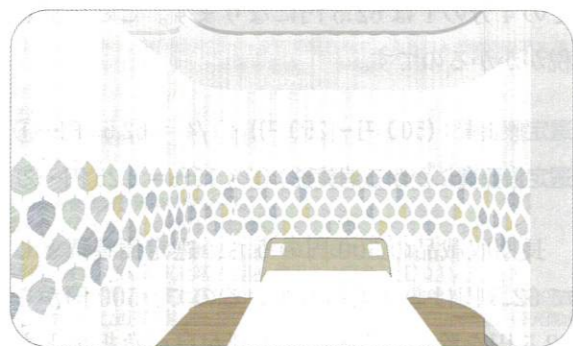
戸倉 蓉子
株式会社ドムデザイン 代表取締役

第3回

患者さんのための
カーテンテクニック

カーテンの役割は大きい

ある病棟のナースチームが多床室の入院患者さんにカーテンについてアンケート調査を行い、患者さんがベッド周りのカーテンを閉める理由を尋ねたところ、「プライバシーの確保」「安心感」「他者とのかかわり（周囲への配慮・煩わしさから逃れるため）」でした^{*}。1日中閉めっぱなしの患者



やさしい北欧柄のプリントカーテン
(ベッドから見たイメージパース)



森の画像をプリントしたカーテン
(ベッドから見たイメージパース)

さんもいてカーテンの役割は大きいです。しかしそのデザインについてはあまり検討されてこなかったように思います。今回は医療施設におけるカーテンについて考えてみたいと思います。

カーテンのポイント

医療施設のカーテンのポイントとして3つ挙げてみたいと思います。

①デザイン性：ベッド周りのカーテンの色はピンクかパステルグリーン、クリーム色ぐらいしかないと思いませんか？ 私が柄物を提案すると「そんなことができるのですか？」と驚かれることがあります。医療施設ではカーテンもリース会社に一括で依頼するケースが多いと思います。そうするとメンテしやすい素材が優先となりデザインの実現が難しいのですが、リースでもデザインを選べる会社はあるので、どのような選択肢があ



4床室のカーテンレールの形状を
アールにした事例

窓からの太陽光が奥まで届きます。(神戸大山病院)



狭い洗面コーナーも
カーテンで雰囲気を良く

タッセルのデザインにも気を使って。
(羽尾皮膚科クリニック)



リーズナブルな生地でも
3色使いで世界に1つの
オリジナルカーテンに

近くのアートと色合いを合わせて暗くなりがちな廊下の一角を素敵に。
(対馬ルリ子女性ライフクリニック)



ブルーとベージュの2色を
縫い合わせ両面を表に

タッセルもカーテンに縫いつけてしまえばなくなることがありません。
(対馬ルリ子女性ライフクリニック)

るか諦めずに聞いてみるとよいでしょう。汚れが付きにくく洗える機能は大事ですが、それに加えてデザインにも気を配ってみましょう。

②安全性：万が一火災が発生した場合、カーテンは燃えやすいので延焼の時間を遅くする「防火加工」された生地を使用することが消防法で義務付けられています。カーテンの生地を選ぶ際に注意しましょう。また、天井からカーテンを吊るすとスプリンクラーが作動した際に水がさげられるので、天井から50cm以上上げてカーテンレールを吊るすか、上部をメッシュ生地にして通気を確保する必要があります。メッシュにも様々な色、柄があるのでカーテンと組み合わせるとよいでしょう。

③美しさへの配慮：カーテンには表と裏がありますが、残念ながら患者さん側（ベッド側）に裏地が来ている病院は多いです。患者さんが裏地を見て多くの時間を過ごすのは気の毒に思います。私は薄手の生地を2枚合わせてフックも両側から挟み、患者さん側もパブリック側も両方表となるように配慮します。予算が限られている場合は1枚でも裏・表があまりわからない生地を使ったり、患者さん側に柄が来るように工夫しています。

また、多床室はカーテンレールの形状をアールにすると、暗くなりがちな廊下側の患者さんにも

太陽光が届きやすくなります。さらにカーテンを閉めた時に、丸みを帯びた柔らかな病室の景色が生まれます。

患者さんが癒されるための工夫

カーテンはプライバシーを守るものですが、閉鎖的な空間をつくるため心が閉じ込められがちになってしまう弊害も考えられます。カーテンが開いても解放感が感じられるようにする方法はあります。たとえば森や水辺の自然の風景写真を生地にプリントするのも1つです。注意点は患者さんにストレスとならないデザインを選ぶことです。

そのほかにもアイデアはあります。単にカーテンが付いていけばよいのではなく、そこに美しさや癒しの効果を考えていくと結果が変わります。比較的簡単に医療空間を美しく整えることができますから、一度カーテンを見直してみてもいいでしょうか。

^{*} 石田芳子ほか：多床室における患者の間仕切りカーテン使用に対する認識と使用状況、日本看護研究学会雑誌 Vol.34, No.2, 2011.

profile

とくら ようこ：ナースとして慶應義塾大学病院に勤務後、建築家を目指しミラノの建築大学に留学。帰国後一級建築士取得。現在、女性だけの設計事務所、株式会社ドムデザインの代表を務める。感動のある医療環境を多数デザイン。2016年、ベトナムにドムインターナショナル設立。
一級建築士・看護師・イタリア政府認定デザイナー・宅地建物取引士